



Title	子どもの健康と環境に関する研究を、社会へ公開・還元したい：環境健康科学研究教育センター 荒木 敦子先生
Citation	学術成果のオープンアクセスとHUSCAP：世界へ伝える・未来へつなぐ (Open Access and HUSCAP : Provision to the World, Passage to Future Generations). 北海道大学附属図書館 本館 正面玄関ホール (展示). 2013年10月21日 (月) ~ 11月4日 (月・祝). 札幌市.
Issue Date	2013-10-21
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/57904">http://hdl.handle.net/2115/57904</a>
Type	lecture
File Information	OpenAccessWeek_02.pdf



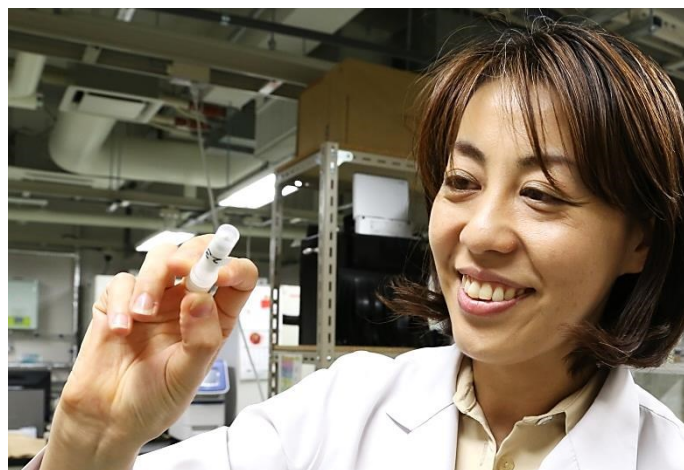
[Instructions for use](#)

# 子どもの健康と 環境に関する研究を、 社会へ公開・還元したい

環境健康科学研究教育センター  
荒木 敦子 先生

環境健康科学研究教育センターは、平成22年4月に設置され、環境が健康に与える影響についての大規模な疫学研究（人々を対象に健康や病気に関する事柄の頻度や分布を調査し、その要因を統計的に明らかにする研究）を行っています。

荒木敦子先生にインタビューしました。



一般家庭から採取されたほこりを150マイクロメートル（0.15ミリメートル）のふるいにかけて、含まれるダニや化学物質などを分析する。手に持っているケースに、ほこりが入っている。

## 出生コホート研究

— センターと荒木先生の研究について教えてください。

一つめが、「北海道スタディ」と呼ばれる出生コホート研究（同じ集団を数年間にわたり追跡する調査）です。道内の2万人、札幌市内の500人のお母さんとお子さんに参加いただいている2つのコホートで、胎児期から成長段階ごとに調査に協力していただいています。化学物質曝露や生活習慣などのデータから、子どもの成長発達やアレルギーへの影響を研究していきます。

二つめは**室内環境**に関する研究です。屋内の空気中の化学物質、ダスト（ほこり）中のダニ、真菌、化学物質などを調査し、それらを原因としたシックハウス症候群、アレルギーの研究をしています。

三つめが、北海道スタディをモデルとした「**エコチル調査**」で、環境省が展開する、全国10万人のお母さんとそのお子さん、お父さんが対象の調査です。当センターは道内の他の3大学と協力して調査を進めています。

**室内の空気から、アレルギー症状の原因を調査する。**

— **HUSCAP**では室内空気質に関する論文を主に公開されていますね。

室内空気質は、英語の ”Indoor air quality” を訳した言葉です。

私たちは一日の約9割の時間を室内で過ごしているので、一日に吸う空気の9割が室内空気質ということになります。室内の空気やほこりの



疫学研究で提供された試料を保管している冷蔵庫。全18台に、血液などの検体や室内空気質の研究のためのホコリが保管されている。「研究室で一番大事です」

**HUSCAP**で読めます！  
荒木先生の研究成果

子どもの健康はおうちの健康から  
(講演スライド)

<http://hdl.handle.net/2115/44093>



The relationship between exposure to microbial volatile organic compound and allergy prevalence in single-family homes.

<http://hdl.handle.net/2115/49105>



中の化学物質によっては、目や鼻の粘膜に炎症がおこったり、シックハウス症候群が誘発されたりします。こうした症状の予防や緩和につながるような成果を求めて、研究をしています。

### 研究の成果を一般の方々へ

一 疫学研究のテーマは一般の方々にとっても、身近な問題ですね。

2010年のサステナビリティウィークで市民公開講演会をしまして、そのときの「室内空気質と健康」に関するプレゼン資料を**HUSCAP**で公開しています。それを読まれた市民の方から、ご自宅の問題についてお電話をいただいたことがあります。

学会発表や研究論文に接する機会がない一般の方、健康と環境について疑問がある方が、

**HUSCAP**を見て、我々の研究に辿り着けたとしたらうれしいです。

一 研究成果を広くお知らせするためのお役に立てて、大変うれしいです。

はい。調査に参加してくださった方々は、当然自分たちの参加した研究の内容や成果に興味があると思います。調査に参加してくださった方々、あるいは市民の皆さまへ、研究の成果を還元する必要があります。

今後も**HUSCAP**を通じて、論文成果などを公開していきたいと思っています。



「エコチル調査」  
北海道ユニットのキャラクター  
エソチルくん